



新型コロナウイルスの影響によりイベントの変更や中止が生じる場合があります。
最新情報をご確認の上お出かけください。ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。
尚、イベントの情報は令和5年4月14日現在です。

第18回 宗吾霊堂紫陽花まつり

宗吾霊堂大本堂裏手に広がる境内には、在来アジサイをはじめ、ガクアジサイ・柏葉アジサイなど約7,000株の紫陽花が植えられています。

中でも柏葉アジサイは1,000株以上植えられており、これだけ多くの柏葉アジサイを見られる場所は少なく、白く輝くように咲く柏葉アジサイの花は私達を楽しませてくれます。

紫陽花まつり期間中の日曜日には、演奏会や茶会、農産物の販売などが行われ、ひとときの風流を楽しむことができます。



【 期 間 】 6月4日(日)～6月25日(日) 期間中の各日曜にイベント開催

演奏会 時間: 10時15分～、13時15分～ 場所: 宗吾霊堂・大本堂

6月4日(日) 箏曲 海寶幸子 6月11日(日) 二胡 ワン シャオフォン

6月18日(日) 箏(清翔会)、尺八(竹樹会) 6月25日(日) 二胡 ワン シャオフォン

茶会 6月4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日) 10時～15時

※定員に達し次第受付終了となります。

【お問合せ先】「紫陽花植樹による観光地づくり実行委員会」事務局 (一般社団法人成田市観光協会)

TEL 0476-22-2102

千葉県立房総のむら ※6月15日(木)千葉県民の日は、入場料が無料となります。

【実演】「お荒神様の宿替え」 屋敷を守ってくれる神である荒神の祠の作り替えを行います。麦わらで屋根を葺き替えます。

【日時】 6月30日(金)10時～12時

【場所】 千葉県立房総のむら内 安房の農家

【入場料】 一般300円、高・大学生150円、中学生以下と65歳以上は無料

【休館日】 月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合せ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333



弘法大師ご誕生 1250年記念大祭

令和5年は、真言宗の宗祖で成田山の御本尊不動明王を敬刻開眼された弘法大師のご誕生1250年の記念すべき年に相当します。

成田山ではこの勝縁に際し4月28日から6月18日までの52日間、ご誕生慶祝の記念大祭を奉修いたします。お不動様の御教えをお伝えくださった弘法大師のご誕生1250年を共にお祝いし、私たちとお不動さま、お大師さまとのご縁を深めましょう。

『写経大会』 6月10日(土)・6月11日(日) ※道場参加 各日定員150人

『弁財天祭礼』 6月10日(土)・6月11日(日) 8時～16時 弁財天堂

『慶祝大法会』 6月15日(木) 11時～ 大師堂

『結願奉告夕護摩供』 6月18日(日) 15時～ 大本堂

『大塔婆御手綱拝掌参拝』 4月28日～6月18日 大師堂 大塔婆に結ばれた御手綱を握りご利益をいただきます。

『特別回向(先祖供養など)』 4月28日～6月18日 11時30分・13時30分・15時30分 大師堂

【お問合せ先】 成田山新勝寺 TEL 0476-22-2111 (8時～16時)



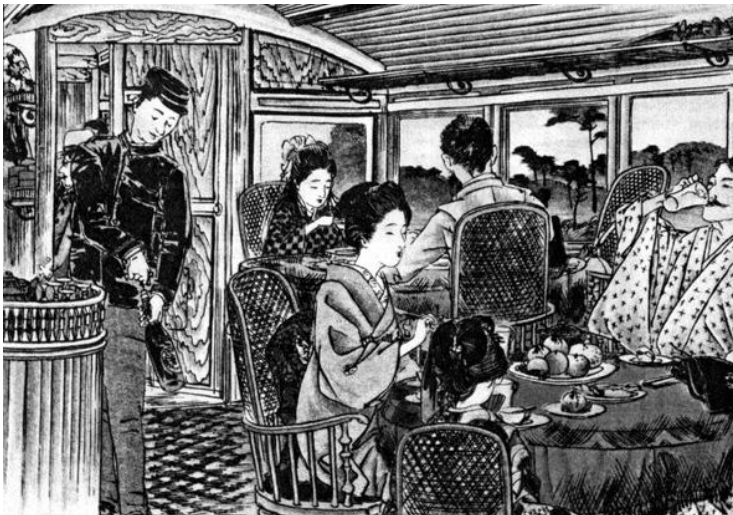
いざ！成田詣へ～街道旅日記～その⑧

江戸時代に端を発する成田山新勝寺への参詣は、明治時代における成田への鉄道の乗り入れによって、その規模に劇的な変化がもたらされることになりました。

明治20年代になると、鉄道開通の気運が起り、27年に総武鉄道により市川～佐倉間が開通、その後、市川～本所(現在の錦糸町)間が開通しました。

成田に初めて鉄道が敷かれたのは、明治30年。佐倉～成田間で成田鉄道が開通となり、本所(現在の錦糸町)と成田が片道約2時間で結ばれ、東京からの日帰りで成田山を参詣出来るようになりました。

明治34年には、成田～我孫子間の鉄道が完成します。成田鉄道は、より収益の多い我孫子経由ルートに力を入れ、明治35年に日本鉄道(現常磐線)と接続して、上野と成田間の直通運転を開始しました。



そして、明治35年4月の大開帳に合わせて、喫茶室の付いた一等車を連結し、上野と成田間を運行しました。喫茶室には、回転椅子とテーブルが置かれ、ビールやウイスキー、コーヒー・紅茶に果物等が販売され、新聞や雑誌も備えられていました。また、当時のハイカラな楽器、オルガンも弾くことができ、軽やかな音色に包まれた車内は、たいそう華やいでいたことでしょう。この高級感あふれるサービスは、東日本で初めて行われ、当時の乗客は大変驚いたことと思います。

このような鉄道サービスの充実と所要時間の短縮も相まって、成田を訪れる人の数は劇的に増加します。明治36年の成田駅の年間乗降客数は、約53万人とされ、千葉駅の48万人をおさえて県下トップであったと記録されています。(次回へ続きます。)

☆イベント等の関連情報については、FEEL 成田(<https://www.nrtk.jp>)をご覧ください。☆